

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第70期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社ミューチュアル
【英訳名】	Mutual Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 榎本 洋
【本店の所在の場所】	大阪市北区西天満一丁目2番5号
【電話番号】	06（6315）8613
【事務連絡者氏名】	経理部長 吉野 尊文
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区西天満一丁目2番5号
【電話番号】	06（6315）8613
【事務連絡者氏名】	経理部長 吉野 尊文
【縦覧に供する場所】	株式会社ミューチュアル東京支店 （東京都千代田区神田須田町二丁目11番） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第69期 第2四半期連結 累計期間	第70期 第2四半期連結 累計期間	第69期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	4,434,351	3,337,233	9,695,843
経常利益又は経常損失() (千円)	105,987	243,146	341,401
四半期(当期)純利益又は四半期純損失 () (千円)	30,387	137,361	146,996
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	26,686	89,423	399,863
純資産額(千円)	7,033,158	7,200,328	7,406,269
総資産額(千円)	10,539,520	10,659,437	11,295,448
1株当たり四半期(当期)純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額() (円)	4.18	18.87	20.20
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期) 純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	64.7	65.5	63.5
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	778,407	74,894	1,440,932
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	130,084	129,941	122,091
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	283,712	83,644	284,387
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残 高(千円)	1,513,377	2,305,522	2,184,555

回次	第69期 第2四半期連結 会計期間	第70期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	8.73	14.40

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀による金融緩和の効果により、企業収益、個人消費の改善がみられるとともに、東京五輪開催決定により、景気回復への期待感が増す一方、輸入物価の上昇や新興国経済の減速、米国財政問題等の懸念事項もあり、先行きは引き続き不透明感の残る状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループでは更なる受注獲得に向け、営業開発室を拡充する等営業強化に注力するとともに、平成25年10月4日付で「株式会社鈴木製作所の事業譲受けに関するお知らせ」で発表しましたように、事業再構築をめざし技術部門の強化も進めて参りました。売上高につきましては、大口案件が下期にずれ込んだことにより前年同期比1,097百万円減少いたしました。損益面におきましては、売上高総利益率が原価低減努力により前年同期比2.0ポイント改善いたしましたが、売上総利益が減収に伴い128百万円減少したことに加え、人件費やサービス費等、販売費及び一般管理費が増加したことで営業損失となりました。また、一部債権において回収不能の懸念があり、貸倒引当金を前連結会計年度末に加え289百万円引当てした結果、経常損益、四半期純損益も損失計上となりました。

報告セグメントに基づく各事業別の概況は以下の通りであります。

産業用機械事業

当セグメントにおきましては、売上高全体では3,039百万円（前年同期比26.5%減）でありました。このうち製剤機が284百万円（同62.8%増）、検査装置が477百万円（同19.9%増）、部品が339百万円（同12.4%増）と増加いたしましたが、充填機が459百万円（同61.9%減）、一連ラインが290百万円（同48.3%減）、包装機が628百万円（同25.9%減）、改造・調整・修理が560百万円（同13.2%減）となりました。

工業用ダイヤモンド事業

当セグメントにおきましては、売上高261百万円（前年同期比7.2%増）となりました。内訳では、人造ダイヤ145百万円（同17.5%増）、原石81百万円（同0.4%減）、パウダー32百万円（同13.9%増）等となっております。

その他

その他は、主に坐薬用包装資材の販売で売上高36百万円（前年同期比33.8%減）であります。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比636百万円減少し、10,659百万円となりました。これは主として仕掛品が514百万円増加する一方で、受取手形及び売掛金が1,373百万円減少し、貸倒引当金が288百万円増えたことによるものです。負債につきましては、前連結会計年度末比430百万円減少し、3,459百万円となりました。これは主として、前受金が120百万円増加する一方で、支払手形及び買掛金が360百万円減少したことによるものです。純資産は、主として四半期純損失137百万円、配当金の支払い109百万円により、7,200百万円となり前連結会計年度末比205百万円の減少となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は2,305百万円となり、前連結会計年度末より120百万円増加となりました。主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は74百万円(前年同期比90.4%減)となりました。これは主に売上債権の減少1,373百万円等により増加したものの、税金等調整前四半期純損失が243百万円であったのに加え、たな卸資産の増加536百万円、仕入債務の減少360百万円等により減少したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、獲得した資金は129百万円(前年同期は130百万円の使用)となりました。これは主に貸付けによる支出132百万円等により減少したものの、有価証券の償還による収入100百万円、投資有価証券の償還による収入100百万円、貸付金の回収による収入69百万円により増加したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は83百万円(前年同期比70.5%減)となりました。これは主に配当金の支払額109百万円等により減少したものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更又は新たに発生した問題等はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は2,794千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,000,000
計	17,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名又は登 録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	7,620,320	7,620,320	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)	単元株式数100株
計	7,620,320	7,620,320	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	7,620,320	-	669,700	-	695,975

(6) 【大株主の状況】

(平成25年9月30日現在)

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
有限会社エム・ティ・シー開発	兵庫県芦屋市船戸町12-7	1,043	13.7
MTC社員持株会	大阪市北区西天満1丁目2-5	554	7.3
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1-2	362	4.8
ミューチュアル取引先持株会	大阪市北区西天満1丁目2-5	292	3.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7-1	264	3.5
三浦 隆	兵庫県芦屋市	205	2.7
三浦 雅子	兵庫県芦屋市	199	2.6
豊田 容梨子	兵庫県西宮市	174	2.3
森崎 真規子	兵庫県西宮市	173	2.3
株式会社ファブリカトヤマ	金沢市大豆田本町甲58	158	2.1
計	-	3,428	45.0

(注) 上記のほか、自己株式が342千株あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

(平成25年9月30日現在)

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 342,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,261,800	72,618	-
単元未満株式	普通株式 16,120	-	-
発行済株式総数	7,620,320	-	-
総株主の議決権	-	72,618	-

【自己株式等】

(平成25年9月30日現在)

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
株式会社ミューチュアル	大阪市北区西天満 1丁目2-5	342,400	-	342,400	4.49
計	-	342,400	-	342,400	4.49

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,268,455	2,387,922
受取手形及び売掛金	3,489,721	2,115,979
有価証券	202,321	51,708
商品及び製品	66,471	83,643
仕掛品	1,132,163	1,647,019
原材料	57,133	61,279
前渡金	559,715	674,088
繰延税金資産	89,513	199,253
その他	230,712	495,886
貸倒引当金	2,135	1,651
流動資産合計	8,094,074	7,715,130
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	285,681	277,294
土地	476,274	476,274
その他(純額)	47,445	68,099
有形固定資産合計	809,401	821,669
無形固定資産		
のれん	22,821	18,256
その他	21,515	21,227
無形固定資産合計	44,336	39,483
投資その他の資産		
投資有価証券	1,398,399	1,354,208
長期預金	201,500	201,200
その他	1,101,279	1,170,291
貸倒引当金	353,544	642,547
投資その他の資産合計	2,347,634	2,083,152
固定資産合計	3,201,373	2,944,306
資産合計	11,295,448	10,659,437

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,450,139	2,089,360
短期借入金	100,000	143,000
1年内返済予定の長期借入金	19,920	19,920
未払法人税等	176,837	4,488
前受金	466,325	586,785
賞与引当金	74,131	82,419
その他	256,534	124,812
流動負債合計	3,543,887	3,050,785
固定負債		
長期借入金	31,940	21,980
退職給付引当金	190,199	200,922
役員退職慰労引当金	64,782	67,214
その他	58,367	118,205
固定負債合計	345,290	408,322
負債合計	3,889,178	3,459,108
純資産の部		
株主資本		
資本金	669,700	669,700
資本剰余金	695,975	695,975
利益剰余金	5,717,061	5,306,877
自己株式	350,457	186,802
株主資本合計	6,732,279	6,485,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410,531	463,915
繰延ヘッジ損益	30,298	36,638
為替換算調整勘定	2,151	863
その他の包括利益累計額合計	438,678	501,417
少数株主持分	235,311	213,161
純資産合計	7,406,269	7,200,328
負債純資産合計	11,295,448	10,659,437

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	4,434,351	3,337,233
売上原価	3,647,138	2,678,919
売上総利益	787,212	658,314
販売費及び一般管理費	709,329	792,117
営業利益又は営業損失()	77,883	133,802
営業外収益		
受取利息	12,756	7,377
受取配当金	13,765	14,255
投資有価証券売却益	-	157,128
その他	3,954	8,639
営業外収益合計	30,476	187,400
営業外費用		
支払利息	894	757
投資有価証券評価損	1,035	6,745
貸倒引当金繰入額	-	289,000
その他	442	242
営業外費用合計	2,372	296,744
経常利益又は経常損失()	105,987	243,146
特別利益		
固定資産売却益	37	28
特別利益合計	37	28
特別損失		
固定資産売却損	4	-
特別損失合計	4	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	106,020	243,118
法人税、住民税及び事業税	35,904	1,622
法人税等調整額	28,063	92,803
法人税等合計	63,968	91,181
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	42,051	151,937
少数株主利益又は少数株主損失()	11,664	14,575
四半期純利益又は四半期純損失()	30,387	137,361

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	42,051	151,937
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,292	53,159
繰延ヘッジ損益	20,063	6,339
為替換算調整勘定	404	3,015
その他の包括利益合計	15,365	62,513
四半期包括利益	26,686	89,423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,581	74,622
少数株主に係る四半期包括利益	11,104	14,800

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	106,020	243,118
減価償却費	20,430	21,066
のれん償却額	4,564	4,564
投資有価証券売却益	-	157,128
貸倒引当金の増減額(は減少)	949	288,518
賞与引当金の増減額(は減少)	2,840	8,288
退職給付引当金の増減額(は減少)	24,866	8,114
受取利息及び受取配当金	26,522	21,632
支払利息	894	757
売上債権の増減額(は増加)	972,795	1,373,835
前受金の増減額(は減少)	18,582	120,460
たな卸資産の増減額(は増加)	445,537	536,259
仕入債務の増減額(は減少)	799,982	360,779
前渡金の増減額(は増加)	47,295	114,368
その他	10,615	164,300
小計	750,343	228,017
利息及び配当金の受取額	20,510	21,604
利息の支払額	934	757
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	8,487	173,970
営業活動によるキャッシュ・フロー	778,407	74,894
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	70,700	70,700
定期預金の払戻による収入	72,500	72,500
有価証券の売却による収入	-	49,900
有価証券の償還による収入	30,788	100,000
有形固定資産の取得による支出	5,930	24,380
投資有価証券の取得による支出	37,283	55,923
投資有価証券の売却による収入	-	26,147
投資有価証券の償還による収入	-	100,000
貸付けによる支出	549,000	132,009
貸付金の回収による収入	440,462	69,355
その他	10,921	4,949
投資活動によるキャッシュ・フロー	130,084	129,941
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	145,000	43,000
長期借入金の返済による支出	9,960	9,960
配当金の支払額	123,593	109,168
少数株主への配当金の支払額	4,350	7,350
その他	809	166
財務活動によるキャッシュ・フロー	283,712	83,644
現金及び現金同等物に係る換算差額	110	223
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	364,499	120,966
現金及び現金同等物の期首残高	1,148,878	2,184,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,513,377	2,305,522

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	70,550千円	-千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給与手当等	217,450千円	227,650千円
退職給付費用	1,435	18,622
役員退職慰労引当金繰入額	2,337	2,432
賞与引当金繰入額	36,306	41,523

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金	1,595,777千円	2,387,922千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	82,400	82,400
現金及び現金同等物	1,513,377	2,305,522

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	123,727	17.0	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	109,168	15.0	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	産業用機械 事業	工業用ダ イヤモン ド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高(千円)	4,135,379	243,932	4,379,312	55,038	4,434,351	-	4,434,351
セグメント間の内部売上高 又は振替高(千円)	-	-	-	-	-	-	-
計	4,135,379	243,932	4,379,312	55,038	4,434,351	-	4,434,351
セグメント利益	263,668	32,113	295,782	13,644	309,426	231,543	77,883

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 231,543千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	産業用機械 事業	工業用ダ イヤモン ド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高(千円)	3,039,196	261,587	3,300,783	36,450	3,337,233	-	3,337,233
セグメント間の内部売上高 又は振替高(千円)	-	-	-	-	-	-	-
計	3,039,196	261,587	3,300,783	36,450	3,337,233	-	3,337,233
セグメント利益	73,789	43,090	116,880	1,803	118,683	252,485	133,802

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 252,485千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額()	4円18銭	18円87銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	30,387	137,361
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	30,387	137,361
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,278	7,277

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

株式会社ミューチュアル

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

山田 美樹

印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

松嶋 康介

印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ミューチュアルの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ミューチュアル及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。